

ふれあいの橋の会

REPORT なんぶ

なんぶ幸朋苑と大山

と き 2026年8月27日(木) 14:00~15:30

見学先 なんぶ特養、生活支援ハウス 米子市石井 1238

出席者 【委 員】生田 仁史、鶴亀 寿子、岸本 保子、高柴サツコ

【なんぶ 幸朋苑】 榎野 利治 (なんぶエリア総合施設長 代理)

徳岡 久美子 (なんぶエリア 在宅課長)

中嶋 健児 (介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑 介護課長)

野口 真 (介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑 主任相談員)

池田 真大 (介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑 主任介護士)

遠藤 智徳 (介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑 相談員)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

NANBU Area Report

■なんぶエリアの現況、施設概要と課題

荒井監事：本日は、高齢者の総合福祉施設の拠点として、1996年8月に開設した「なんぶ幸朋苑」を見学していただきます。はじめに、**なんぶエリアの現況**を榎野総合施設長代理から報告をお願いします。

榎野総合代理：なんぶ幸朋苑は、今年8月で開設30周年を迎えました。9月19日(土)13:30~15:00の時間帯に、地域の皆様と一緒に祝いをしたいと考え、「30周年感謝祭」の準備を進めています。ステージイベントでは、こうほうえん職員による大漁太鼓演奏、米子高校生徒による書道パフォーマンス、キッズタウンさくらの園児による歌とソーラン節踊り、フードコーナーでは、たこ焼きやかき氷、クレープなど人気グルメが集合します。ぜひ、皆様にお越しいただきたいと考えています。在宅系事業所の**デイケア**は、利用者が増えていますので、定員を30名から35名に定員枠を広げます。このため、現在入浴設備も含め改修工事中です。なんぶ幸朋苑は、水害指定区域となっていますので、**防災対策を強化**しています。

中嶋課長：30周年感謝祭では、11:00から式典を予定しており、ふれあいの橋の会の委員をはじめ、ボランティアでお世話になっている皆様に感謝状を贈呈したいと考えています。

なんぶ特養は、120床で運営しています。その内、地域密着型特養がありましたが、隣接の町からの入居希望が多いため全室を**広域型に変更**しました。ショートステイは、希望者が減少していましたので、特養に変更し入居受け入れ枠を拡大しています。時代の推移やニーズの変化に合わせて運用を変えていく考えです。



- 中嶋課長**：なんぶ幸朋苑の周辺は、日野川などの河川が多く、毎年6月に水防訓練を実施しています。4mの氾濫を想定し、2階に避難する訓練です。グループホームなるみも合同で実施していますが、避難経路に用水路があるのが課題です。現在、ゴムボート等についても検討中です。
- 池田主任**：こうほうえんの取り組みをスライドで紹介します。(こうほうえんのホームページに掲載されている内容等を説明。) インスタグラムなどを活用し、活動情報を広く提供しています。
- 徳岡課長**：生活支援ハウスについて説明します。米子市の委託で、現在10名(男性4名、女性6名)、65歳～90歳が入居されています。平均年齢77.2歳、平均介護度1.6。全室で20室ありますが、今月から5室を有料老人ホームに転換し、「ビスターレみなみ」とし運営します。すでに入居申し込みがあります。掲示板設置や懇談会の開催など、生活支援ハウスも含めて実施する予定です。
- 荒井監事**：特養入居希望の待機者は、どのような状況ですか。
- 野口主任**：なんぶ特養は、多床室や従来型個室がありますので、利用料金が安価であることから希望者が多いと思います。
- 鶴亀委員**：私は、永江地区に住んでいますが、近年空き家が随分増えたと感じています。介護施設等に入居されたため、空き家が増えているのだらうと想像しています。特養の待機者が多いようですが、申し込んでもすぐに入れない状況なのでしょうか。
- 野口主任**：特養の入居は、申し込み順ではなく、介護度や主介護者の状況をみて優先順位が決まります。以前に比べて待機者は、若干減少傾向にあります。有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅が開設され、選択肢が増えていることも要因かと思います。
- 生田委員**：申し込み順ではないとなると、何年も待ち続ける人があるということですか。
- 野口主任**：要介護3になったことで、とりあえず申し込まれる人も待機人数にカウントされます。
- 高柴委員**：ショートステイの利用希望は、多いと思っていました。利用希望者はありませんか。
- 中嶋課長**：介護施設は、老健、グループホーム、小規模多機能型施設など、泊まりのサービス提供が増えましたので、分散され利用希望者も減少しています。
- 荒井監事**：30周年感謝祭でも、米子高校生徒との交流が予定されていますが、地域交流はどのような現況ですか。
- 中嶋課長**：本日も「角ファミリーバンド」がボランティアで来訪されています。苑内外の除草作業も地域の皆さんが参加されます。避難訓練の際には、なるみ消防団にも協力していただいています。
- 荒井監事**：では、施設巡回に合わせ、バンド演奏も見学させていただきます。

■施設内外の点検・提言

荒井監事：バンド演奏を聞いた後、施設内を見学していただきました。配布しました**評価表**（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④地域交流）の**チェック項目**を照合し、**気づいた点を指摘してください**。

生田委員：2階のケアハウス食堂に多くの皆さんが集まっていました。参加者の範囲は？

徳岡課長：特養、老健、ケアハウス、生活支援ハウス、デイケアなど、複数施設のご利用者が集まっています。米子高校のコーラス部も時々訪れて歌を披露してくれますが、ご利用者にとっては刺激があり、とても喜ばれます。施設間の交流は、避難訓練や敬老会、秋祭りなどではありますが、こうした機会を増やしたいと思います。

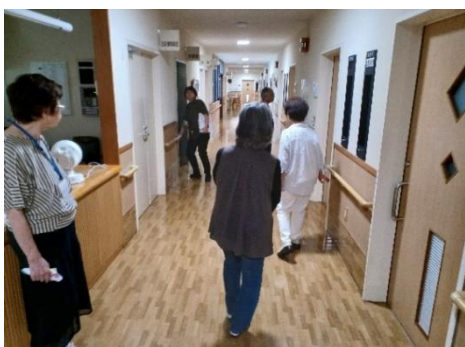
岸本委員：思いがけずコンサートを聞かせていただき、とても楽しい時間を過ごせました。ガラス窓の向こうに大山が見えていましたが、客席からは逆光で演奏者の顔が見えず、気になりました。私は、コロナ禍前にはボランティアで毎週訪問し、本の読み聞かせをしていましたが、たまに來訪すると施設内が広すぎて迷ってしまいます。なんぶエリアでは、**永江地区での取り組み**が目を見張るものがあります。RINりんなどの取り組みは、素晴らしいと思います。

高柴委員：Instagramなど**情報発信**に積極的に取り組まれていますが、評判はどうですか。

池田主任：情報発信の狙いは、地域への開放と新規介護人財の獲得です。**若者に介護の仕事や施設の魅力を伝えたい**と考えています。Instagramでの情報発信をしています。4月の時点で月間平均1600件の閲覧になっています。家族向けにQRコードを配布し、閲覧数の増加を目指しています。

生田委員：私は、地区のサロン活動として「**どんぐりカフェ**」を開いています。常時12、3名が参加していますが、**大半が女性**です。五千石地区では、週1回、5人で車を運転し、**買い物支援ボランティア**をしています。毎週顔を合わせることで関係性が深まっています。評判はいいですが、活動を拡大するには、介護施設が事務局機能を担い、住民がボランティア参加するという仕組みができないものかと思っています。

③





鶴亀委員：私も地域での活動をしています、**男性の参加は少ない**です。今日もコンサートを鑑賞される男性の表情を見ていましたが、**笑顔が少ない**ように感じました。男性は、幼い子どもを見る時には、ニコっとされます。男性が積極的に**参加したくなるような方法**はないでしょうか。

生田委員：長年、民生児童委員をしていましたので、家庭を訪問することが多かった。女性は話し上手で会話も弾み交流を活発にされます。男性は地域行事への参加は消極的で、会話も必要最小限にしようとされます、しかし、興味関心事を持っていますので、**どのような方法が良いのか**希望を聞き工夫が必要だと思います。誰もが楽しく日々を送りたいと思っています。

高柴委員：多床室の間仕切りに木材が使用されていますが、温かみを感じて良いと思います。

中嶋課長：以前はカーテンで仕切っていましたが、プライバシーを保つために、工夫がなされました。

鶴亀委員：猛暑日が続き、**庭の除草作業**は大変だと思います。私も協力します。

中嶋課長：職員で除草作業をしようと計画しています。

榎野総合代理：なんぶ幸朋苑では、苑内のいたるところに、ベンチを置いています。また、観葉植物を配置し、ゆったりとした気持ちになっていただくよう配慮がなされています。

中嶋課長：法人理念に「地域に開かれた」という言葉がありますが、なんぶ幸朋苑が地域の皆様に親しまれ、**若者にとっても魅力のある職場**に位置付けられるよう、今後とも情報を発信したいと思います。本日は多忙の中、有難うございました。

荒井監事：**次回は、10月22日（木）14：00～ デイハウスごせんごく、ピスターレごせんごく**を予定しています。9月19日（土）は、なんぶ幸朋苑感謝祭です。④

